

トキ 野生復帰にむけて 40

トキ資料展示館(トキの森公園)

リニューアルオープン

昨年11月から工事のため閉館していたトキ資料展示館が、このたび3月19日(水)にリニューアルオープンします。試験放鳥を目前にして、展示内容を大幅に見直しました。みなさまのご来館をお待ちしています。

●資料展示館

なぜ、野生のトキが絶滅したのか、全鳥捕獲から始まったトキ保護の取り組み、野生復帰に向けての取り組み、人と生きものが共に生きていくことの意義を知っていただくことを目的に、展示内容をリニューアルしました。

展示パネルに限らず、五感を使って「トキ」を体感できる紹介コーナーをはじめ、映像シアターでは、優優(ユウユウ)の成長記録と野生復帰に向けた取り組みをご覧いただけます。

●観察回廊

以前の観察回廊は、屋根がかかっただけの開放型でしたが、壁を設置し密閉型としました。さらに空調設備を設置し、一年中、快適な環境でトキを観察することができます。



観察回廊…窓越しに繁殖ケージのトキを観察できます。

トキ資料展示館

【所在地】 新穂長畝383・2

☎22・4123

【開館時間】 午前8時30分～午後5時

(入館締切 午後4時30分)

【休館日】 毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は火曜日休館) / 年末年始12

月29日～1月3日

【協力費】

大人 / 1人200円 (一般・高校生)

小人 / 1人100円 (中学生・小学生)

トキ資料展示館では入館の際、周辺自然環境の保全と整備のために「環境保全協力費」をいただいています。

◆市役所 環境課 トキ推進室

☎63・3113

トキ訓練の現場から②「電気自動車がやってきた」

佐渡トキ保護センター野生復帰ステーション 井澤 正人



2月13日雪の降る中、野生復帰ステーションに強力な助っ人がやってきました。軽トラ四輪駆動仕様の電気自動車です。

昨年7月10日に開催された「野生復帰ステーション・トキ放鳥式」において、(株)北越銀行様と北銀まごころの会様から新潟県知事に寄贈された自動車で、車種の検討や注文、生産、登録手続き等を経てようやく納車になったものです。

野生復帰ステーションは敷地が広く、ケージなどの施設が管理棟から離れているため資材や餌ドジョウの運搬に車は欠かせません。今までは車が1台しかなく、トキの飼育管理に優先的に使用していたため、出張など、場合によっては自家用車の使用もありましたが、それも解消されることとなります。

また、電気自動車の特徴である「静かさ、排ガスゼロ」は、環境に優しい車であり、野生復帰ステーションにふさわしい車と言えます。



トキは、*Agoups japonica* という学名を持つ日本を代表する鳥です。
この種は、日本全国に生息していましたが、2000年10月1日、ここで閉ざされた。トキ、ふたに似たことにより日本の野生生まれのトキは絶滅してしまいました。
しかし、中国から運ばれたトキのついでにより、1999年、日本で初めての人と鳥は再会。2001年には100羽を超えるまで増えました。
2007年に新穂長畝地区に完成した野生復帰ステーションでは、トキを野放しにもするとの決断が、佐渡の人々に知られた。トキの野生復帰を支援し、放鳥することを目指しています。
このトキ資料展示館では、トキの歴史、生態、保護活動の現状、入館者の参加、放鳥後までをわかりやすく紹介、解説しています。
放鳥から放鳥までトキの野放しの学問、人、トキが共に生きていくことの意義をご理解していただければ幸いです。

2008年秋、トキ放鳥。

佐渡トキ保護センター
「トキ資料展示館」リニューアルオープン
【所在地】 950-0101 新潟県佐渡市新穂長畝383番地2 TEL: FAK0295022-4123
【開館時間】 午前8時30分～午後5時 (入館締切午後4時30分)
【協力費】 大人 1人200円 (一般・高校生) / 小人 1人100円 (中学生・小学生)